

特集

多様化する社員と働きやすい職場づくり ——無期転換・限定正社員と働き方の見直し



労働力人口の減少という時代の流れを背景に、働き方の多様化に向けた環境づくりが進んでいる。政府の成長戦略にも「働き方の見直し」が指摘され、法制度の整備も進展が見られるなかで、女性や高齢者、有期契約労働者、限定正社員等、同質性の薄れる職場への対応は、企業にとっても現実的な経営課題の一つ。労働組合側も連合が来春闘の闘争方針に男性正社員・長時間労働モデルを転換する「働き方改革」を明記するなど、このことは政労使共通のテーマといえる。特集では、改正労働契約法への対応や多様な正社員の活用の状況を企業に尋ねた当機構のアンケート調査結果を紹介。あわせて、厚生労働省が公表している有期契約労働者を無期契約に転換した事例を報告する。さらに、在宅勤務やフレックスタイム等の自由度の高い就業形態や、インターバル規制を導入して長時間労働を是正する企業労使の事例などから、見直しの方向を探る。

<今号の主な内容>

- 【JILPT 調査】** 改正労契法への対応と多様な正社員の活用状況に関する調査 調査・解析部
- 【資料】** 無期転換制度導入企業——厚労省資料から
- 【事例取材】** 多様な勤務形態を活用して環境改善を図る企業労使
——三菱ふそうトラック・バス サイゼリヤ 調査・解析部
- 【連載】** 社員の自己成長を支援して、会社の成長に合った人材を育成
——スギ薬局 調査・解析部
- 【スペシャルピック】** 人口減少の克服に必要な具体策の方向性を提言
——平成 27 年版『厚生労働白書』の概要
- 【特別企画】** 2015 年 労働経済の年間分析 厚生労働省政策統括官付労働政策担当参事官室